

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年12月16日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (11.5)	12/11	0	5.0	31.96	0	0	10	0	
		5	5.0	31.98	0	0	0	0	
		10	5.0	31.99	0	0	30	0	
		15	5.1	32.00	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンダーリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンダーリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータが根室海峡(標津)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年12月9日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (5.0)	12/2	0	6.9	32.91	0	0	0	0	
		5	7.3	33.28	0	0	10	0	
		10	9.0	33.61	0	0	10	0	
		13	9.1	33.53	0	0	0	0	
常呂 (10.0)	12/3	1	3.9	31.39	0	0	0	0	
		10	4.2	31.43	0	0	0	0	
		20	4.4	31.58	0	0	0	0	
		30	5.4	32.29	0	0	0	0	
サロマ湖 (9.0)	12/3	0	5.0	31.97	0	0	0	0	
		3	5.0	32.08	0	0	10	0	
		6	5.1	32.07	0	0	0	0	
		9	5.3	32.18	0	0	0	0	
		12	5.5	32.29	0	0	10	0	
		15	5.7	32.34	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域およびサロマ湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年12月1日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (10.0)	11/19	0	11.8	32.90	0	0	0	0	
		10	12.8	33.61	0	0	0	0	
		20	12.8	33.62	0	0	0	0	
		30	12.8	33.63	0	0	0	0	
厚岸 (3.0)	11/25	0	8.8	33.20	0	0	10	0	
		5	9.4	33.45	0	0	20	0	
		10	9.7	33.46	0	0	20	0	
		13	9.8	33.44	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロセース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年11月19日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.5)	11/9	0	11.0	33.44	0	0	20	0	Dn
		5	11.2	33.40	0	0	0	0	
		10	11.2	33.43	0	0	0	0	
		13	11.2	33.53	0	10	10	10	
猿払 (-)	11/10	0	13.5	33.73	0	0	0	0	Dm
		10	13.6	33.80	0	0	0	0	
		15	13.6	33.79	0	0	0	10	
		20	13.6	33.79	0	0	0	0	
江差 (16.0)	11/12	0	13.8	33.86	0	0	0	0	
		10	14.1	33.99	0	0	0	0	
		20	14.0	34.01	0	0	0	0	
		30	13.8	34.05	0	0	0	0	
常呂 (10.0)	11/12	1	12.7	33.40	0	0	0	0	
		10	12.7	33.50	0	0	0	0	
		20	12.5	33.70	0	0	0	0	
		30	12.7	33.70	0	0	0	0	
サロマ湖 (6.8)	11/12	0	10.7	33.30	0	0	0	0	
		3	10.7	33.40	0	0	0	0	
		6	10.7	33.50	0	0	0	0	
		9	10.7	33.50	0	0	0	0	
		12	10.7	33.50	0	0	0	0	
		15	10.7	33.50	0	0	0	0	
能取湖 (7.9)	11/12	0	10.3	33.60	0	0	10	20	Di
		10	10.4	33.60	0	10	10	10	Di
標津 (6.0)	11/18	0	11.9	33.65	0	0	0	0	
		5	12.1	33.77	0	0	0	0	
		10	12.4	33.88	0	0	0	0	
		15	12.5	33.94	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域および能取湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年10月30日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (9.0)	10/21	0	17.7	33.40	0	0	0	20	Dc
		10	17.7	33.42	0	0	0	20	Dc
		20	18.2	33.79	0	0	0	0	
		30	18.2	33.81	0	0	0	0	
増毛 (15.0)	10/21	0	18.2	33.76	0	0	0	10	Dru
		10	18.1	33.78	0	0	0	0	
		20	18.1	33.79	0	0	0	0	
		30	18.2	33.85	0	0	0	0	
能取湖 (9.9)	10/21	0	14.9	33.67	0	50	20	70	Di
		10	14.7	33.68	0	100	10	70	Di60, Dm10
常呂 (13.0)	10/27	1	15.6	33.90	0	0	0	0	
		10	15.6	33.90	0	0	0	0	
		20	15.6	34.00	0	0	0	0	
		30	15.7	34.00	0	0	0	0	
サロマ湖 (10.1)	10/27	0	14.2	33.70	0	0	0	0	
		3	14.2	33.70	0	0	0	0	
		6	14.2	33.70	10	0	0	0	
		9	14.2	33.70	0	0	0	0	
		12	14.2	33.70	0	0	0	0	
		15	13.7	33.70	0	0	0	0	
厚岸 (3.0)	10/28	0	13.0	32.32	10	0	250	0	
		5	13.7	33.13	0	0	80	0	
		10	12.7	33.30	0	0	10	10	Di
		13	12.4	33.54	0	0	20	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンデルリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンデルリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンデルリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルージェイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティが能取湖で、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・インファンディブラが能取湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年10月22日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	10/7	0	19.4	33.63	0	0	0	10	Dm
		10	19.4	33.64	0	0	0	10	Dru
		15	19.4	33.63	0	0	0	10	Dru
		20	19.4	33.61	0	0	0	0	
江差 (16.0)	10/8	0	21.0	33.38	0	0	0	0	
		10	21.0	33.39	0	0	0	0	
		20	21.1	33.49	0	0	0	0	
		30	20.7	33.57	0	0	0	0	
標津 (11.0)	10/16	0	16.1	33.59	0	0	20	10	Dru
		5	16.1	33.62	0	0	0	0	
		10	16.1	33.63	0	0	0	0	
		15	16.1	33.63	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、宗谷北部(猿払)海域でデイノフィシス・ミトラおよびデイノフィシス・ルジエイが、根室海峡(標津)海域でデイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年10月13日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	10/8	0	15.4	31.24	10	50	370	30	Dro
		5	15.6	33.00	0	30	300	10	Di
		10	15.3	33.30	0	0	10	0	
		13	13.8	32.90	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年10月2日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (12.0)	9/24	0	19.1	33.85	0	Aa630	30	30	150	Di120, Dm30
		10	19.1	33.86	0	Aa40	60	10	60	Dro10, Di40, Dm10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年9月28日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (18.0)	9/14	0	22.4	34.06	0	0	0	0	
		10	22.4	34.06	0	0	0	0	
		20	21.7	34.06	0	0	0	0	
		30	21.5	34.07	0	0	0	0	
浜益 (6.0)	9/16	0	21.5	33.36	0	0	0	0	
		10	21.5	33.39	0	0	0	0	
		20	22.0	33.86	0	0	0	0	
		30	22.0	33.92	0	0	0	0	
厚岸 (6.0)	9/23	0	17.6	32.94	0	30	90	0	Dm10, Dru10
		5	16.7	33.21	0	10	30	20	
		10	16.0	33.35	0	0	30	0	
		13	15.6	33.36	0	20	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年9月18日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (21.0)	9/7	0	27.0	33.51	0	0	0	0	Dru
		10	24.9	33.47	0	0	0	10	
		20	24.9	33.49	0	0	0	0	
		30	21.4	33.86	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.5)	9/15	0	19.6	33.80	0	0	0	0	Di
		3	19.6	33.80	0	20	10	20	
		6	19.5	33.80	0	10	0	20	
		9	19.5	33.80	0	10	0	30	
		12	19.4	33.80	0	10	30	10	
		15	19.0	33.80	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にサロマ湖でデイノフィシス・フォルティ, デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年9月11日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.5)	9/7	0	20.9	31.76	0	0	0	0	Dro
		5	17.7	32.63	80	160	290	20	
		10	16.6	33.13	0	0	0	0	
		13	15.7	33.21	0	0	0	0	
常呂 (13.0)	9/9	1	21.5	29.50	0	0	0	30	Dn10, Dro10, Dm10 Dro
		10	19.0	33.90	0	0	0	10	
		20	18.7	33.90	0	0	0	0	
		30	18.6	33.90	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年9月9日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	9/1	0	17.3	1.22	0	0	0	0	Dm
		10	17.4	33.81	0	0	0	0	
		15	17.2	33.93	0	0	0	0	
		20	16.6	33.95	0	0	0	10	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・ミトラが宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年9月4日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (17.0)	8/25	0	22.4	33.65	0	0	0	0	
		10	21.8	33.94	0	0	0	0	
		20	20.8	34.04	0	0	0	0	
		30	19.3	34.10	0	0	0	0	
標津 (-)	9/3	0	-	-	0	0	0	0	Dm
		5	-	-	20	0	0	10	
		10	-	-	0	0	0	0	
		15	-	-	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・ミトラが根室海峡(標津)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年9月1日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (20.0)	8/18	0	23.6	33.34	0	0	0	0	
		10	23.1	34.05	0	0	0	0	
		20	19.4	34.19	0	0	0	0	
		30	17.4	34.32	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンダーリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンダーリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年8月28日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (9.5)	8/25	0	17.9	32.90	150	0	30	10	Dru
		5	17.7	32.90	30	30	40	10	Dru
		10	16.1	32.72	140	80	20	0	
		13	14.3	33.01	10	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で100細胞/Lを超えて出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年8月25日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (9.0)	8/17	0	22.7	33.37	0	0	0	0	
		10	22.1	33.89	0	0	0	0	
		20	21.7	33.99	0	0	0	0	
		30	21.3	33.97	0	0	0	0	
猿払 (-)	8/18	0	20.3	33.72	0	0	0	20	Dm
		10	20.3	33.74	0	0	0	20	Dm
		15	20.1	33.75	0	0	0	20	Dro10, Dm10
		20	20.1	33.74	0	0	0	30	Dro10, Dm20

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・ミトラが宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年8月24日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (12.0)	8/18	1	21.0	33.46	0	0	0	0	
		10	20.9	33.47	10	0	0	60	Dm
		20	19.9	33.53	0	0	0	10	Dro
		30	19.8	33.54	0	0	0	50	Dm
サロマ湖 (4.0)	8/18	0	21.5	33.55	0	Aa180	0	0	Dm
		3	21.5	33.59	0	Aa1,980	0	0	
		6	20.6	33.64	0	Aa2,350	20	0	
		9	20.0	33.66	0	Aa180	0	0	Di
		12	19.7	33.67	0	Aa150	0	0	
		15	18.8	33.68	0	Aa60	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走中部(常呂)海域で出現しております。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・ミトラが網走中部(常呂)海域で出現しております。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年8月20日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別 (一)	8/11	0	20.39	33.66	0	0	0	0	
		10	19.72	33.75	0	0	0	0	
		20	19.44	33.81	0	0	0	0	
		30	19.16	33.84	0	0	0	20	Dro
厚岸 (4.5)	8/14	0	15.6	31.73	120	280	110	10	Dru
		5	13.6	32.80	1080	690	500	90	Dro20, Di10, Dn60
		10	12.3	32.77	40	0	20	0	
		13	11.2	33.28	20	10	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スpecies コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジェイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。7/29に続き、1000細胞/Lを超えての出現です。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年8月13日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	7/28	0	17.6	1.06	0	0	0	0	
		10	17.7	34.13	0	0	0	0	
		15	16.9	34.00	0	0	0	0	
		20	15.6	34.15	0	0	0	0	
紋別 (-)	8/3	0	19.7	34.09	0	0	0	0	Dm
		15	17.4	34.08	0	0	0	10	
		25	17.0	34.09	0	0	0	0	
		40	16.7	34.08	0	0	0	0	
網走 (8.0)	8/4	0	18.7	33.87	0	0	0	0	
		10	17.7	33.89	0	0	0	0	
		20	17.2	33.94	0	0	0	0	
		30	16.2	34.03	0	0	0	0	
能取湖 (7.0)	8/4	0	21.3	33.65	0	0	0	0	Di
		10	18.0	33.69	10	70	0	10	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンDRリウム タマレンセ スピールセース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンDRリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンDRリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが能取湖で出現しております。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にディノフィシス・フォルティが能取湖で出現しております。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年8月3日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	7/29	0	16.7	30.63	70	60	90	0	Dro10, Di10, Dn30
		5	14.1	31.96	1070	490	80	50	
		10	12.3	32.16	20	40	10	0	
		13	10.7	32.50	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で1000細胞/Lを超えて出現しております。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にディノフィシス・フォルティとディノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しております。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC28)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年7月31日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (14.0)	7/20	0	22.8	32.76	0	0	0	0	
		10	20.3	34.09	0	0	0	0	
		20	17.5	33.90	0	0	0	0	
		30	15.4	34.14	0	0	0	0	
浜益 (20.0)	7/20	0	22.0	33.51	0	0	0	0	
		10	20.2	34.05	0	0	0	0	
		20	19.1	34.04	0	0	0	0	
		30	14.6	34.04	0	0	0	0	
能取湖 (6.0)	7/21	0	20.9	33.46	0	0	0	0	
		10	17.0	33.59	0	50	50	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒フランクtonAtは出現していません。

下痢性貝毒フランクtonは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータが能取湖で出現しております。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年7月28日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (12.0)	7/21	1	18.2	29.10	0	0	0	0	
		10	16.4	33.90	0	0	0	0	
		20	15.6	33.90	0	0	0	0	
		30	15.2	33.90	0	0	0	0	
サロマ湖 (11.0)	7/21	0	21.4	33.30	0	0	0	0	
		3	21.4	33.30	0	0	0	0	
		6	17.6	33.50	0	20	30	0	
		9	16.8	33.60	0	40	10	0	
		12	15.7	33.60	10	120	80	0	
		15	14.5	33.60	120	220	20	0	
頓別 —	7/16	0	15.7	34.07	0	0	0	0	
		10	15.4	31.06	0	0	0	0	
		20	14.3	34.08	0	0	0	10	Di
		30	13.7	34.10	0	0	0	0	
江差 (23.0)	7/17	0	21.3	34.16	0	0	0	0	
		10	21.2	34.13	0	0	0	10	Dm
		20	20.0	34.24	0	0	0	0	
		30	19.7	34.26	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンデルリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンデルリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖で出現しています。毒性値の上昇にご注意下さい。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティとアキュミナータがサロマ湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年7月17日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (15.0)	7/9	0	19.5	33.44	0	0	0	0	
		10	18.9	33.74	0	0	0	0	
		20	17.9	34.07	0	0	0	0	
		30	15.8	33.84	0	0	0	0	
能取湖 (6.5)	7/10	0	19.8	33.51	0	0	0	0	
		10	14.9	33.54	0	210	100	50	Di

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンDRリウム タマレンセ スピ-シーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンDRリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンDRリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラが能取湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC25)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年7月16日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (12.0)	7/6	0	16.1	33.48	10	0	0	0	Dro10
		15	12.3	33.92	0	0	0	0	
		25	12.3	33.92	0	0	0	0	
		40	12.3	33.92	0	0	0	10	
猿払 (-)	7/7	0	15.9	33.85	0	0	0	0	
		10	15.2	33.83	0	0	0	0	
		15	15.2	33.82	0	0	0	0	
		20	15.2	33.80	0	0	0	0	
厚岸 (3.5)	7/10	0	16.1	29.70	10	0	20	0	Dn20, Dro30
		5	12.1	31.49	30	30	10	50	
		10	10.5	31.71	30	0	20	0	Dn20, Dro10
		13	9.2	32.28	20	0	20	30	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンDRリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンDRリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンDRリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンテイブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒フランクtonAtが網走北部(紋別)海域および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒フランクtonでは、主に太平洋東部(厚岸湾央)海域でデイノフィシス・フォルティ, デイノフィシス・アキュミナータ, デイノフィシス・ノルヴェジカ, デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年7月15日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (9.0)	6/29	0	16.6	32.42	0	0	0	0	
		10	15.7	33.07	0	0	0	0	
		20	15.1	33.51	0	0	0	0	
		30	12.3	33.99	0	0	0	0	
網走 (10.0)	7/6	0	13.9	33.34	1180	0	10	0	Dru
		10	12.9	33.78	10	0	0	0	
		20	12.5	33.79	180	0	0	10	
		30	12.4	33.78	250	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走南部(網走)海域で1000細胞/Lを超えて出現しています。出荷自主規制値を超える毒化に注意してください。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・アキュミナータおよびディノフィシス ルジエイが網走南部(網走)海域で出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年7月13日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (10.0)	7/7	1	15.3	33.30	0	0	0	0	
		10	12.9	33.60	0	0	0	0	
		20	12.4	33.90	0	0	0	0	
		30	12.2	33.90	10	0	0	0	
サロマ湖 (8.5)	7/7	0	18.4	33.20	10	0	0	0	
		3	16.8	33.00	10	20	0	0	
		6	15.0	33.40	0	20	0	0	
		9	14.6	33.60	0	10	0	0	
		12	14.1	33.60	0	0	0	0	
		15	13.2	33.60	30	0	20	10	Dro

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンダーリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンダーリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティがサロマ湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年7月3日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.3)	6/26	0	15.1	33.06	0	130	10	10	Dro
		10	14.7	33.09	0	40	10	10	Di
頓別 (-)	6/26	0	11.8	34.04	0	0	0	0	
		10	11.8	34.03	0	0	0	0	
		20	11.8	34.03	0	0	0	10	Dru
		30	11.7	34.03	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンデルリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンデルリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・フォルティが能取湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年6月30日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (13.0)	6/22	0	13.3	34.16	0	0	0	0	
		10	12.6	34.06	0	0	0	0	
		20	11.6	34.15	0	0	0	0	
		30	11.5	34.17	0	0	0	0	
増毛 (24.0)	6/23	0	16.0	33.74	0	0	0	0	
		10	14.5	33.95	0	0	0	0	
		20	13.0	33.95	0	0	0	0	
		30	11.7	33.97	0	0	0	0	
厚岸 (4.0)	6/25	0	13.2	30.98	20	0	0	0	Dn30, Dru10
		5	11.6	31.56	0	0	10	40	
		10	9.3	32.13	40	0	10	0	
		13	8.1	32.22	10	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒フランクtonAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒フランクtonでは、主にデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルウェジカが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年6月25日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (12.0)	6/22	1	13.1	33.10	0	0	0	0	Dru
		10	13.3	33.50	0	0	0	10	
		20	12.9	33.80	0	0	10	0	
		30	12.7	33.80	0	0	10	0	
サロマ湖 (10.0)	6/22	0	15.5	32.60	0	0	0	0	
		3	15.4	32.70	0	10	0	0	
		6	15.1	33.00	0	0	0	0	
		9	14.6	33.20	0	10	0	0	
		12	13.9	33.20	0	0	0	0	
		15	12.2	33.30	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンダリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンダリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンダリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒フランクtonAtは出現していません。

下痢性貝毒フランクtonでは、主にデイノフィシス・フォルティがサロマ湖で、デイノフィシス・アキュミナータが網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC19)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年6月24日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (9.0)	6/15	0	13.7	33.52	0	0	0	0	
		10	11.7	33.62	0	0	20	0	
		20	11.3	33.78	10	0	10	0	
		30	11.1	33.84	10	0	0	0	
猿払 (-)	6/16	0	13.9	33.79	0	0	0	0	
		10	13.8	33.81	0	0	0	0	
		15	13.8	33.81	0	0	0	0	
		20	13.8	33.79	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒フランクtonAtが網走南部(網走)海域で出現しています。

下痢性貝毒フランクtonでは、デイノフィシス・アキュミナータが網走南部(網走)海域および宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年6月19日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (12.0)	6/9	0	14.8	33.25	0	0	0	0	
		10	13.6	33.59	0	0	0	0	
		20	12.8	33.73	0	20	0	0	
		30	11.7	33.96	0	10	0	0	
能取湖 (7.2)	6/11	0	16.2	32.67	0	0	0	0	
		10	12.4	33.26	0	10	40	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンDRリウム タマレンセ スピィーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンDRリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンDRリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウヱジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・フォルティが日本海北部(増毛)海域および能取湖で、ディノフィシス・アキュミナータが能取湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年6月15日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (10.0)	6/8	1	12.3	27.80	0	0	0	0	
		10	11.6	33.70	0	0	0	0	
		20	11.6	33.70	0	10	0	0	
		30	11.6	33.70	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.0)	6/8	0	14.1	32.80	10	0	0	0	
		3	14.0	32.80	10	0	0	0	
		6	12.7	32.80	0	10	0	0	
		9	12.4	33.00	0	10	0	0	
		12	12.1	33.00	0	10	10	0	
		15	11.6	33.10	0	20	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース・コンプレックス (旧 A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖で出現しています。網走中部(常呂)海域では出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティが網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で、デイノフィシス・アキュミナータがサロマ湖で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2020年6月10日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (14.0)	6/2	0	11.6	33.62	0	0	0	0	Dru10
		15	9.9	33.82	0	10	0	10	
		25	9.9	33.82	0	0	0	0	
		42	9.8	33.81	0	0	0	0	
猿払 (-)	6/2	0	11.6	33.70	0	0	0	0	
		10	11.5	33.81	0	0	0	0	
		15	11.5	33.81	0	0	0	0	
		20	11.5	33.79	0	0	0	0	
厚岸 (5.0)	6/8	0	11.6	31.08	10	0	0	10	Dru10
		5	9.9	31.40	0	0	0	30	Dn30
		10	5.8	32.36	0	0	0	0	
		13	5.6	32.44	0	0	10	0	
標津 (12.0)	6/8	0	10.1	31.63	10	0	20	0	Dru10 Dn10, Dru10
		5	9.0	31.58	80	0	20	10	
		10	6.1	31.90	0	0	80	20	
		15	5.3	32.19	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンデルリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧 A. tamarense アレキサンデルリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンデルリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)および根室海峡(標津)海域で出現しています。根室海峡海域では毒性値の変化に注意してください。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にデイノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)および根室海峡(標津)海域で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年6月5日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (6.0)	5/25	0	7.9	32.38	0	0	30	0	
		10	5.0	33.53	0	0	0	0	
		20	7.6	33.55	0	10	10	0	
		30	7.7	33.68	0	0	0	0	
猿払 (-)	5/26	0	9.4	33.90	0	0	0	0	
		10	9.0	34.08	0	0	0	0	
		15	8.6	34.05	0	0	0	0	
		20	8.5	34.08	0	0	0	0	
増毛 (12.0)	5/27	0	11.3	32.69	0	0	10	0	
		10	11.3	33.81	0	10	0	0	
		20	11.0	33.75	0	10	0	0	
		30	10.3	33.84	0	20	10	0	
能取湖 (7.0)	5/28	0	12.2	28.89	0	40	30	0	
		10	10.1	33.01	0	0	40	10	Dro
厚岸 (3.5)	5/29	0	11.1	30.50	20	0	0	20	Dn10, Dru10
		5	7.2	31.91	10	0	0	0	
		10	6.0	32.08	0	0	0	40	Dn40
		13	4.6	32.09	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。今回能取湖では出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・アキュミナータが網走南部(網走)海域、日本海北部(増毛)海域および能取湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 品田晃良, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年5月28日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (1.5)	5/14	0	9.5	33.41	0	0	0	0	
		15	9.1	33.46	0	0	0	0	
		25	9.0	33.48	0	0	0	0	
		35	9.0	33.50	0	0	0	0	
浜益 (7.0)	5/18	0	10.8	32.97	0	0	10	0	Dru Dru
		10	10.7	33.22	0	0	0	20	
		20	10.1	33.72	0	20	0	10	
		30	9.1	33.80	0	20	0	0	
江差 (9.0)	5/18	0	10.8	34.06	0	0	0	0	
		10	10.4	33.95	0	0	0	0	
		20	9.8	34.07	0	0	0	0	
		30	9.3	34.08	0	0	0	0	
常呂 (7.0)	5/25	1	10.2	33.20	0	10	10	10	Dru Dn
		10	8.3	33.60	0	0	20	10	
		20	8.2	33.70	0	0	10	0	
		30	8.2	33.70	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.0)	5/25	0	11.1	31.90	0	10	0	0	
		3	10.9	32.10	0	10	10	0	
		6	9.9	32.60	0	0	10	0	
		9	9.6	32.90	0	0	0	0	
		12	9.4	33.10	0	0	0	0	
		15	8.6	33.10	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・アキュミナータが石狩湾(浜益)海域、網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年5月20日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別 (-)	5/11	0	8.3	33.51	0	20	0	0	Dru
		10	8.3	33.51	0	10	0	10	
		20	8.3	33.55	0	10	10	0	
		30	8.3	33.57	0	0	0	0	
能取湖 (9.1)	5/12	0	ND	ND	0	10	160	20	Dro10, Di10
		10	ND	ND	20	10	110	10	
猿払 (-)	5/12	0	8.5	33.67	0	0	0	10	Dru
		10	8.3	33.78	0	20	0	0	
		15	8.3	33.81	0	10	0	10	Dro
		20	8.3	33.81	0	0	0	0	
増毛 (12.0)	5/12	0	10.5	32.28	0	0	0	0	
		10	10.2	33.05	0	0	0	0	
		20	10.1	33.47	0	0	0	0	
		30	9.8	33.64	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンデルリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンデルリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが能取湖で出現しています。能取湖では4/11、4/27に続いての出現です。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティが宗谷南部(頓別)海域、宗谷北部(猿払)海域および能取湖で、デイノフィシス・アキュミナータが宗谷南部(頓別)海域および能取湖で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年5月18日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (10.0)	5/11	1	8.6	29.80	0	0	0	0	
		10	8.2	33.60	0	0	10	0	
		20	8.2	33.60	0	0	0	0	
		30	8.2	33.60	0	0	0	0	
サロマ湖 (8.0)	5/11	0	9.1	31.50	10	0	10	0	
		3	8.9	31.60	0	0	0	0	
		6	8.7	32.50	0	0	0	0	
		9	5.9	32.20	0	0	0	0	
		12	5.2	32.50	0	0	0	0	
		15	4.4	32.70	30	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖で出現しています。網走中部(常呂)海域では出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンでは、網走中部(常呂)海域およびサロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年5月13日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (1.5)	5/8	0	7.2	30.36	0	0	0	0	
		5	5.1	31.76	0	0	0	0	
		10	2.8	32.10	0	0	0	0	
		13	2.3	32.31	0	0	0	0	
標津 (-)	5/11	0	-	-	10	0	0	10	Dro
		5	-	-	0	0	0	10	Dro
		10	-	-	0	0	0	10	Dn
		15	-	-	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピロセーシス コンプレックス (旧 A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが、根室海峡(標津)海域で出現しています。太平洋東部(厚岸湾央)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、根室海峡(標津)海域で デイノフィシス・ロツンダータおよびデイノフィシス・ノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2020年5月8日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (1.5)	4/24	0	5.9	30.25	0	0	0	0	
		5	3.9	31.48	0	0	0	0	
		10	3.2	31.84	0	0	0	0	
		13	1.5	32.06	0	0	0	0	
能取湖 (6.5)	4/27	0	5.8	31.29	30	0	70	10	Di
		10	3.0	32.20	10	0	0	0	
常呂 (7.0)	4/27	1	1.5	28.43	0	0	0	0	
		10	-0.9	32.66	10	0	50	0	
		20	4.7	33.64	0	0	0	0	
		30	4.9	33.66	0	0	10	0	
サロマ湖 (6.0)	4/27	0	4.8	30.99	0	0	30	0	Di10, Dru10
		3	4.8	31.15	0	0	20	20	
		6	3.6	31.81	0	0	0	0	
		9	3.5	32.08	0	0	0	0	
		12	3.6	32.42	0	0	0	0	
		15	3.4	32.61	0	0	0	0	
猿払 (-)	4/27	0	ND	ND	0	10	60	0	
		10	6.9	33.81	0	10	0	0	
		15	6.8	33.93	0	0	0	0	
		20	6.7	33.94	0	0	0	0	
増毛 (12.0)	4/27	0	7.9	32.41	0	0	20	0	Dru
		10	8.0	33.04	0	30	0	10	
		20	7.9	33.62	0	20	10	0	
		30	7.9	33.72	0	0	0	0	
江差 (8.0)	4/27	0	9.6	33.86	0	0	10	0	
		10	9.7	33.99	0	10	30	0	
		20	9.5	34.00	0	0	0	0	
		30	9.3	34.03	0	10	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが、能取湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。能取湖では4/16に続いている出現です。

太平洋東部(厚岸湾央)海域、サロマ湖、宗谷北部(猿払)、日本海北部(増毛)および日本海南部(江差)海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティが宗谷北部(猿払)、日本海北部(増毛)および日本海南部(江差)海域で、デイノフィシス・アキュミナータが能取湖、網走中部(常呂)海域他、全6地点で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2020年4月30日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (11.0)	4/16	0	0.9	32.27	30	0	50	20	Di10, Dru10
		15	2.1	33.01	0	0	0	0	
		25	2.7	33.20	0	0	10	0	
		37	2.8	33.23	0	0	0	0	
増毛 (14.0)	4/20	0	8.4	32.54	0	0	0	0	Dru
		10	7.5	33.93	0	0	0	10	
		20	7.1	34.00	0	0	0	0	
		30	6.8	34.04	0	0	0	0	
浜益 (12.0)	4/20	0	8.4	32.31	0	0	10	0	Di Dru
		10	8.0	33.85	0	0	10	10	
		20	7.6	33.91	0	20	0	10	
		30	7.3	34.04	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、網走北部(紋別)海域で出現しています。
日本海北部(増毛)海域および石狩湾(浜益)で出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティが石狩湾(浜益)で、デイノフィシス・アキュミナータが網走北部(紋別)海域および石狩湾(浜益)で出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年4月22日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別 —	4/13	0	5.5	34.02	0	0	100	0
		10	5.5	33.95	0	0	80	0
		20	5.5	33.96	0	0	30	0
		30	5.4	33.99	0	0	70	0
能取湖 (5.6)	4/16	0	2.8	30.70	20	0	150	0
		10	2.3	31.30	0	0	100	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジェイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、4月の能取湖で出現しています。
 宗谷南部(頓別)海域では出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンは、宗谷南部(頓別)海域および能取湖でデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年4月17日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	4/10	0	3.0	29.99	0	0	0	0
		5	2.9	31.06	0	0	0	0
		10	2.0	31.64	0	0	0	0
		13	1.4	31.79	0	0	0	0
常呂 (8.0)	4/13	0	5.6	0.10	0	0	0	0
		10	3.9	33.50	0	0	0	0
		20	4.7	33.50	0	0	0	0
		30	4.9	33.60	0	0	0	0
サロマ湖 (3.6)	4/13	0	3.7	28.20	0	0	0	0
		3	2.3	30.60	0	0	10	0
		6	1.6	31.20	0	0	10	0
		9	1.2	31.80	0	0	0	0
		12	2.5	32.00	0	0	0	0
		15	2.3	32.30	0	0	0	0
標津 -	4/13	0	-	-	0	0	0	0
		5	-	-	0	0	0	0
		10	-	-	0	0	0	0
		15	-	-	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

4月の太平洋東部(厚岸湾央)海域、網走中部(常呂)海域、サロマ湖および根室海峡(標津)海域で、麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンについては、ディノフィシス・アキュミナータがサロマ湖で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年4月14日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (3.0)	4/6	0	0.8	31.23	0	0	10	0
		10	0.2	32.57	0	0	0	0
		20	0.5	32.84	0	0	100	0
		30	0.6	32.86	0	0	20	0
猿払	4/7	0	5.3	34.26	0	0	30	0
		10	5.3	34.27	0	0	20	0
		15	5.3	34.26	0	0	30	0
		20	5.3	34.26	0	0	30	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の網走南部(網走)海域および宗谷(猿払)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンについては、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 栗林貴範、品田晃良、有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年3月12日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.5)	3/9	0	0.8	30.88	0	0	0	0
		5	0.3	31.61	0	0	0	0
		10	-0.5	31.94	0	0	0	0
		13	-0.5	31.96	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年1月14日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.0)	2/3	0	-0.7	32.01	0	0	0	0
		5	-0.2	31.81	0	0	0	0
		10	0.0	31.90	0	0	0	0
		13	0.1	31.82	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年1月24日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (19.0)	1/20	0	5.1	33.44	0	0	0	0
		10	5.2	34.08	0	0	0	0
		20	5.3	34.11	0	0	0	0
		30	5.3	34.12	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の日本海北部(増毛)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年1月16日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
標津 (10.5)	1/15	0	0.9	31.53	0	0	0		10	Dru
		5	0.9	31.53	0	0	10		0	
		10	0.9	31.54	0	0	10		0	
		15	0.9	31.54	0	0	40		0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブーラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェーシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとルジエイが出現しました。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2020年1月14日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (7.5)	1/8	0	0.6	32.93	0	0	20	0
		5	1.3	32.28	0	0	10	0
		10	1.6	32.34	0	0	20	0
		13	1.6	32.33	0	0	20	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しました。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)